

景観シミュレーション自己評価書

シミュレーションの距離帯		評価基準（考え方）	評価対象	基準のチェック	評価基準に対するコメント
遠景	●背景との関係が読み取れる距離 ↓ 位置・規模を評価 （目安 1)1,000m程度 2)最大寸法 20 倍 例）高さ 50m の場合 距離 1,000m 程度	●大景観と調和しているか（地域の景観の特徴との関係）。 ・景観形成基準や広域景観形成基準がある場合、景観形成の目標に適合しているか。 ・地域の景観の優れた特徴を乱していないか。 ・親しまれている眺望を妨げていないか。	① 位置		現況調査結果より遠景からは計画建物が見えないため、シミュレーションは不要とした。
			②規模		
			③スカイライン		
中景	●建物の周辺の状況がわかる距離 ↓ 主要部位を評価 （目安 100～500m程度）	●中景観と調和しているか（周辺景観とのバランス）。 ・周辺の優れた景観特性を乱していないか。 ・過剰に目立っていたり、雑然としていたり、周辺に景観阻害感を生じていないか。	① 基調色		現況調査結果より中景からは計画建物が見えないため、シミュレーションは不要とした。
			②おおまかな形状		
			③主要な付属物 〔屋上設備 屋上階段 ベランダ等〕		
			④特殊な材料 （金属やミラーなど）		
近景	●隣接する建物との関係や通りの雰囲気がわかる距離 ↓ ディテールを評価 （目安 50m程度）	●小景観と調和しているか（通りの雰囲気と建物のデザインとの関係）。 ・通りの雰囲気を悪い方向に乱していないか。 ・商店街や住宅地といった通りの性格や将来計画に照らし合わせて適当なデザインか。 ・建物の立つ場所の特性（交差点に面するなど）に配慮しているか。	①壁面意匠 〔ファザード意匠 側面の仕上げ 壁面設備〕	○	既設浴場棟と同様の外壁色（2.5Y7.5/2）とし、調和をはかる。
			② 看板類	—	看板類の設置はなし。
			③ アクセントカラー	—	特にアクセントカラーとなるものは設置しない。
			④ 低層部の雰囲気	—	2 階建てのため、高層・低層の区別はなし。
			⑤敷地利用 （緑化など）	—	前面道路部分は極力緑化をはかる。
地点	●周辺の公共空間（前面道路の歩道など）との関係がわかる距離 ↓ 道路際の造作を評価 （目安 10m前後）	●前面の公共空間と調和しているか（道路際の雰囲気）。 ・道路敷が雑然としていないか。 ・地区固有の行事などに支障はないか。 ・前後の歩道の雰囲気を乱していないか。 ・その他、圧迫感や歩きにくさを感じさせるようなところがないか。	①低層部のディテール・意匠・材料・構造	○	2 階建てのため、高層・低層の区別はなし。 既設浴場棟と同様の形状、外壁、屋根とする。
			②敷地のデザイン 〔敷地の舗装 緑化状況 駐車場の見えなど〕	○	前面道路部分は極力緑化をはかる。